



広南病院の担当科について

詳しくはこちらで担当科を判断させていただきます。

担当科	診療内容	対象疾患
脳神経外科	脳、脊髄、神経、脳血管の各疾患に対する診断・外科治療を行います。頭痛、めまい、しびれなどの症状を示す疾患のみならず、無症状で発見される疾患も診療対象としています。安全性の高い根治術を目標として治療を行っています。	脳動脈瘤・脳出血 くも膜下出血 脳・脊髄血管奇形 もやもや病 脳腫瘍 顔面痙攣・三叉神経痛 外傷 痙縮
血管内脳神経外科	開頭せずに、カテーテルを用いた血管内からの治療を専門に行っています。脳神経外科と連携し、患者さん個々に最適な治療を選択しています。脳ドックなどで偶然に発見された未破裂脳動脈瘤の治療も数多く行っていますが、本邦最高峰の治療機器・技術を用いて安全性を重視した治療を行っています。	未破裂脳動脈瘤 くも膜下出血 急性期脳梗塞 脳動静脈奇形 硬膜動静脈ろう
下垂体外来	先端巨大症、クッシング病、不妊や無月経の原因の中に、脳下垂体に発生する腫瘍があります、大きくなると視力、視野、眼球運動障害を起こす方もいます。 これらの腫瘍摘出に際しては鼻孔や上口唇粘膜を切開する特殊な手術を行います。	下垂体腫瘍 先端巨大症 無月経 乳汁分泌
脳血管内科	「脳卒中専門の内科」として主に脳梗塞の内科的治療にあたります。超急性期に対し血栓溶解薬、血栓回収デバイスの使用が可能であり、経頭蓋ドプラ・頸動脈エコー・経食道エコーなどの超音波検査を行い脳梗塞の正確な原因を確定し、機能障害を最小限にとどめる診療をいたします。	脳梗塞 脳動脈狭窄 頸動脈狭窄 脳出血
脳神経内科	脳から脊髄、末梢神経、筋肉まで神経系全般の疾患を診療いたします。頭痛、めまい、しびれ、けいれん、麻痺物忘れなどの症状を示す患者さんを診察し、正確な診断と適切な処置を行います。	認知症 パーキンソン病 頭痛関連疾患 てんかん 末梢神経障害